

平成26年度 事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

目 次

P1～P3	法人の概要
P4～P5	事業の概要
P6～P11	湊川短期大学事業報告
P12	三田松聖高等学校事業報告
P13	湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
P14	湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
P15	湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
P16	湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
P17	湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
P18	湊川短期大学附属キッズポート保育園幼稚園事業報告
P19	財務の概要
P20	平成26年度財務報告
P21	過去三カ年の財務推移表
P22～P24	平成26年度決算報告グラフ他分析資料
P25	平成26年度監査報告書

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 平成26年度 事業報告書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学園の教育は、校祖、幸田たま女史の何事にもくじけぬ不撓不屈の湊川精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い特性と、健全な身体を備え、新時代を即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

- ・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなる意欲をもとに、科学心を啓培し

- ・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

- ・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を琢磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

4 役員・評議員の概要

【役員】

理事	理事長	浅井祐子	監事	監事	下山隆一郎
	常務理事	山野上素充		監事	木寅文雄
	常任理事	堀 忍			(2名)
	常任理事	大前 衛			
	常任理事	齋藤孔孝	(H27.2.8逝去)		
	常任理事	原口富美子			
	理事	柳田昌三			
	理事	小室烈生			
	理事	高尾裕子			
		(9名)			

【評議員】

評議員	評議員	浅井祐子	評議員	上田紀夫
	評議員	堀 忍	評議員	上月康代
	評議員	大前 衛	評議員	則木豊丈
	評議員	齋藤孔孝	評議員	藤本まり子
	評議員	大前成美	評議員	柴崎成男
	評議員	久保廣昭	評議員	辻 優
	評議員	大前通代	評議員	柳田昌三
	評議員	中里博	評議員	田仲正之
	評議員	中井重樹	評議員	高尾裕子
	評議員	原口富美子	評議員	山野上素充
	評議員	大西則夫	評議員	古林伊津子
	評議員	藪田榮男	評議員	小室烈生

(24名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学 (単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人間生活学科	80	160	152	12	29	5	7
幼児教育保育学科	100	200	172	13	16	8	8
専攻科健康教育専攻	10	20	8				
専攻科幼児教育専攻	20	40	7				
合計	210	420	339	25	45	13	15

(2) 三田松聖高等学校 (単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
特進コース			77				
総合コース			971				
合計	210	270	1048	51	10	9	1

(3) 湊川短期大学附属幼稚園 (単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西舞子幼稚園	70		188	13	10	0	2
神陵台幼稚園	62		182	13	6	0	2
北摂第一幼稚園	110		226	13	7	1	3
北摂中央幼稚園	100		290	13	14	0	1
北摂学園幼稚園	85		108	9	13	0	0
合計	427		994	61	50	1	7

(4) 湊川短期大学附属保育園 (単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	17	70	79	16	2	2	6
合計	17	70	79	16	2	2	6

※ 学生・生徒・園児・教職員数2014年(平成26年5月1日現在)

2 事業の概要

(1) 平成26年度の主な事業

(法人)

事務局トイレ改修工事	335,340	(有)なべい設備商会
------------	---------	------------

(短大)

本館塔屋屋上防水改修工事	297,000	山陽建材工事㈱
短期大学貯水槽塗装修理	807,948	山陽建材工事㈱
学生会館集会室空調設備取替工事	2,204,260	東芝キャリア㈱
短期大学消防用設備改修工事	807,047	㈱ゼネラル商会
ラーニング・commons設置工事	18,608,400	㈱大東
学生寮水道私設メーター取替工事	486,540	(有)なべい設備商会
学生寮浴室床改修工事	594,000	但南建設㈱
楠木寮浴室修繕工事	226,800	三住管財㈱
5号館調理用冷凍庫ホシザキHF-63LZ	194,400	ホシザキ阪神㈱
学園食堂厨房室空調設備設置工事	1,036,800	東芝キャリア㈱

(学内寮)

学生寮浴室床改修工事	594,000	但南建設㈱
------------	---------	-------

(高校)

コミステーション倉庫取替	776,520	但南建設㈱
東館教室日除けカーテン取付	552,960	インテリアかとう
東館出入口増設工事	1,717,200	塩谷建設㈱
本館受水槽更新工事	5,724,000	(有)なべい設備商会
本館高置水槽更新及び消火呼水水槽工事	3,380,400	(有)なべい設備商会
情報教室移設改修工事	15,660,000	三日月建設㈱
記念体育館網戸取付工事	604,800	三日月建設㈱
菊水清舎他改修工事	6,436,800	山陽建材工事㈱
こおろぎ社マリンパ`LV2400CF	1,212,192	森岡楽器
ヤマハ B`クラリネット (YCL-853 II V)	286,000	森岡楽器
防犯カメラ増設	489,500	㈱大東
プールコースロープ組立・設置一式・コースロープ巻取器	1,716,120	(有)ライチョウシステムズ`
㈱四柳製プールクリーナーMRX-06型一式	588,600	イヌイ㈱
情報教室移設機器入替費用	15,665,400	㈱ナニワ計算センター
情報教室移設整備 パソコンデスク他	2,700,000	アイリストセ㈱
大型ハイケース(展示ケース)2台	660,000	アイリストセ㈱
生徒用机90台・椅子90脚	903,960	アイリストセ㈱

(西舞子幼稚園)

園舎新築工事	534,351,600	前田建設工業(株)
園舎新築工事(備品等)	10,024,560	(株)ジャクエツ 神戸店

(神陵台幼稚園)

消防設備改修工事	292,680	(株)ゼネラル商会
遊具「なかよしドラゴン」修理	540,000	チャイルド社
プール槽内塗装改修工事	712,800	山陽建材工事(株)
保育室用ロッカー収納棚	1,580,000	(株)ケアリビング
園児用S軽テーブル7組	203,700	フレーベル館
S軽テーブル	698,400	フレーベル館

(北摂第一幼稚園)

階段手摺取付工事	538,920	但南建設(株)
園舎防水塗装工事	14,580,000	山陽建材工事(株)
便器取替工事	434,000	(有)なべい設備商会
外トイレ改修工事	378,000	(有)なべい設備商会
身長・体重計	214,300	フレーベル館
プール濾過機	613,440	(株)ジャクエツ 神戸店

(北摂中央幼稚園)

2階幼児用シンク設置	476,604	(有)なべい設備商会
トレビ浄水器	248,400	(株)ジャクエツ 神戸店
給食室空調機設置工事	432,000	東芝キャリア(株)

(北摂学園幼稚園)

給食室空調機設置工事	529,200	東芝キャリア(株)
------------	---------	-----------

湊川短期大学事業報告

短大のガバナンスについて

短期大学のミッションを遂行するための方策の一つとして、平成 26 年度はワーキンググループとして各種委員会を立ち上げ、年度当初に委員会としての事業計画を発表し活動状況を毎月教授会で報告し、年度末にその成果と課題を総括して次年度へ繋げることにした。それにより、委員会の活性化と短期大学運営のさらなる円滑化と意志決定のスピードアップ化となった。

5 年後に迎える湊川相野学園 100 周年に向けて、収支の改善と教育の質的転換を柱とする短期大学中長期計画の基本方針を策定し、平成 27 年度前期中により具体化、現実的な計画の策定作業に入った。

地元三田市と湊川相野学園とで「連携協力に関する協定」を締結したことによって、子育て支援、生涯学習、高齢者福祉など本学の学科・専攻の特性を活かした地域貢献の可能性が大きく広がった。こうしたことが学生の体験学習や教育研究にも寄与する方向に作用している。

学校教育法の一部改正及び同法施行規則の一部の改正に伴って、学則をはじめ学内規則・既定の総点検・見直しを行うとともに、短期大学と法人の全教職員で改正の趣旨を確認して、平成 27 年度を迎えた。

自己点検・評価について

平成 26 年度の自己点検・評価については、平成 25 年度の第三者評価の結果を踏まえ、各学科専攻や委員会が積極的に活動をし、PDCA サイクルをまわすことを目標とし、各学科専攻・委員会の協力のもと、1 年をかけて PDCA サイクルをまわすことが出来た。

特に委員会活動においては、第三者評価で指摘された多くの課題に取り組むことが出来たと考える。このことから、平成 26 年度自己点検・評価報告書については、委員会の活動内容をまとめ、短大ホームページにアップをする予定である。

平成 25 年度の自己点検・評価報告は、平成 26 年度中に短大ホームページにアップし、外部に向けても、本学の自己点検・評価の状況を発信した。

FD の推進

平成 26 年度、積極的に取り組むべき課題として設定をした「ラーニング・コモンズと、そのあり方についての理解を深める」をテーマに取り組んだ。特に、各学科専攻別では順調に行われていた FD 活動を全学的な FD 活動に発展させた。そのために FD 推進委員会規程の見直しを行い、SD 推進委員会とも合同で研修を行った。

具体的には 7 月と 2 月にラーニング・コモンズの研修を教員・職員合同で行い、全学的にラーニング・コモンズに取り組むために、教職員が協力し合いながら進めることができる体制の整備を目指し、共通の考え方を共有できるようにした。また 10 月にはラーニング・

コモンズをベースに学生が能動的に学ぶ環境を作るために、短大としての中長期計画をどのように考えて、取り組もうとしているのかについて研修会を行い、共通の理解ができるようにした。

SDの推進

平成 26 年度から、朝礼を実施し、業務連絡や相互確認をおこない、年度当初には職員個人としての年間目標を発表した。また、大学を取り巻く教育関連に関する情報を共有し、各種研修を通じて、大学職員としての資質と能力の向上に努めた。

ラーニング・コモンズについて

本学の教育の質保証実現に向けて、アクティブ・ラーニングを中心とした教育改革推進を進めており、平成 26 年度「私立大学等教育活性化設備整備費補助金」の助成を受け、本学 2 号館 1 階をラーニング・コモンズとして、設備環境を整備した。「発想の場」、「集中コーナー」、「練り上げの場」、「キッズルーム」、「プレゼンルーム」を整備し、これらの場を活用した講義や研究活動などの教育実践を進めた。この整備が、学生の主体的学びの促進および全学生の授業外学修時間の増加に寄与している。

教育課程について

人間生活学科 人間健康専攻

(1) 免許資格取得について

養護教諭コースでは、養護教諭 2 種免許及び社会福祉主事任用資格の取得のために、教員免許必修科目の履修、教育実習、臨床実習の指導をしている。医療事務コンピューターコース及び食育健康コースでは規定の講義以外に資格試験前対策講座を実施し合格率を向上させるように指導している。

免許資格名	取得合格人数 (人)
養護教諭 2 種免許	20
社会福祉主事任用資格	20
医療管理秘書士	45
診療実務士	45
レセプト点検実務士 (3 級)	30
レセプトコンピュータ講座修了証書	44 (申請者)
病歴記録管理士	45
医療事務士	39
秘書検定 2 級	16
サービス接遇検定 2 級	26
サービス接遇検定準 1 級	18
MOS Word2013	42

MOS Excel2013	27
MOS PowerPoint2013	2
介護保険事務士	39
食生活アドバイザー（3級）	4

(2)．ボランティアについて

幅広い経験を積むことによって、自己理解を深め社会性を高めることを目的として、ボランティア活動への参加を推奨している。宝塚市立病院のコンサートボランティア、恒生病院のコンサートボランティア、あおぞらクリニックのあおぞら祭にのべ10人の学生が参加した。学校ボランティアとして、神戸市の小学校に2人が参加した。

(3)．進学について

養護教諭としての知識の充実、実践力の向上を目的に、学生各自が自己目標をもって学ぶことを勧めている。養護教諭1種免許取得、カウンセリング実務士資格取得及び学士認定を受けるために、専攻科へ7人が進学した。

人間生活学科 生活福祉専攻

(1)．教育実践について

平成26年度は、入学生21名、卒業生は25名であった。卒業生で就職の意志があり、就職できた者は23名であった。就職先として、特別養護老人ホーム18名、介護老人保健施設2名、療養型医療施設1名、障害者支援施設1名であった。卒業生のうち、2名は就職を希望せず、家事手伝い希望であった。

(2)．教育研究について

生活福祉専攻では、質的把握の方法について、専攻内で議論を重ねた結果、すべての科目が統合される介護施設実習の学修成果の質的把握の方法について研究を行なうこととなった。26年3月に研究成果として本学紀要に「介護実習における学修成果—学習成果の質的把握のための共同評価—」として発表した。その研究成果に基づき、26年度より介護施設実習の学修成果の質的把握を行なっている。

なお、この研究成果については、日本介護福祉士養成施設協会が主催した全国教職員研修会のセッションでも報告され、大きな注目を浴びた。

さらには、本学全体をあげて取り組んでいるアクティブ・ラーニングに関連して、とくにアクティブ・ラーニングを重点的に進めていくべき科目として「介護福祉演習・実習指導」を指定した。さらには、その学びを充実させるために専用テキストを専攻教員全員で執筆した。

(3)．社会貢献について

生活福祉専攻では、社会貢献活動が大変活発である。社会貢献活動は、学園・短期大学

の広報活動の一環としても機能していると考え、積極的に推進している。

生活福祉専攻で推進している主な社会貢献活動には、「介護技術講習会」と「キャリア形成訪問指導事業」がある。介護技術講習会は、介護福祉士国家試験の受験にあたって講習会の受講により、実技試験を免除されるというものである。働きながら受験を目指す方の受講希望が多く、勤務地近くでの開催を希望されることが多い。

本学の介護技術講習会も同様であって、地元で勤務する方々からの開催要請が強くある。授業に負担の無いよう夏休み等に開催しているが、実習巡回等も行わなければならないため、2クール（8日間）が限度である。本年度も定員いっぱいの64名が受講した。受講料が6万円で受講料収入は384万円であった。

キャリア形成訪問指導事業は、厚生労働省の事業であって、介護職員のキャリアアップのための研修を行なう事業である。本学では、介護技術の研修や働きながら資格取得を目指す職員のための介護福祉士国家試験受験対策講座を実施している。この事業については、申し込みを断っているほど多くの申し込みがある。延べ41施設で400人の受講生を数えるに至っている。介護技術の研修にしても国家試験対策講座にしても普段の勤務の終了した夕刻に施設を訪問し、講座を実施している。そのため、教員は通常の勤務を行ないながら、夕刻に研修に出かけている。

幼児教育保育学科

(1) 教育研究活動について

学生教育では、丁寧な教育を目指し、退学・休学の申し入れがあった場合は安易な退学・休学を認めないためにも必ず保護者面談をチューターと学科長が行い、学生が納得のいくまで対応をした。また、免許・資格取得にあたり学力が低い学生には実習期間を延長するなど十分な学習をしてから実習に臨ませるようにした。その結果、今年度は74名の学生が卒業し、そのうち学業優秀者として「校祖幸田たま賞」を3名の学生が受賞した。

就職状況は、公立保育所への就職が5名と例年になく人数の合格者を出した。また、ほとんどの学生が免許資格を活かした希望する職場に就くことが出来た。

(2) 社会貢献について

幼児教育保育学科はイベントとして、湊成祭開催時に「保育まるごと展」と称した展示ブースを設け、湊成祭来校者に幼児教育保育学科の魅力や教育内容についてわかってもらうことに努めた。また、平成27年3月7日（土）には「みな・とっち保育まるごとフェスタ」を三田市地域子育て支援センター（みな・とっちひろば）と共催でおこなった。100名近くの親子の来校があり、ミニコンサートやお話の会などの保育を提供し、また、地域の方々も楽しんでもらえるイベントを開催した。

専攻科

平成26年度健康教育専攻1年生6名・2年生2名、幼児教育専攻1年生4名・2年生3

名の在籍あり、2年生全員が修了、学士（教育学）を取得した。また、健康教育専攻修了生は第一種養護教諭免許状・カウンセリング実務士資格、幼児教育専攻修了生は第一種幼稚園教諭免許状・カウンセリング実務士資格を取得した。

健康教育専攻在籍生は、兵庫県下の小学校で実施されている「自然学校」の指導補助員・救護員として参加した。

幼児教育専攻在籍生は、「三田市家族の日」の啓発活動の一環として、ウッディタウン市民センターまつりのブース企画・運営、および三田市駒ヶ谷運動公園子育て交流広場でのハロウィンイベント、クリスマスイベントに参加した。

短大本科生に向けた専攻科の内容を知らせる専攻科 NEWS を2回発行し、専攻科の学修内容や課外活動を知ってもらうことで、専攻科進学に向けた啓発活動を推進した。

学生支援について

(1). 学生生活について

充実した学生生活を営めるよう、学友会が様々な行事（新入生歓迎行事・七夕祭・湊成祭・クリスマスイベント等）を実施した。年々各行事への参加者・来場者が増え、内容も充実し活況を呈してきた。4つの部・1つのサークルも定期的に活動を行った。

また、学生が教職員を身近に感じ相談しやすい関係づくりを目的とした、学生部職員による玄関での挨拶運動を展開した。来訪者から「この学生はよく挨拶してくれる」との声も聞いた。

年度末に学生相談に関してアンケートを実施し、「気軽に相談できる環境づくり」の必要性が明らかになった。

(2). 進路支援について

正課科目「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」での講義・演習を通して、将来展望・勤労精神・コミュニケーション能力等の育成に力を注いだ。各種模擬試験・検定試験も実施した。

卒業生を講師として体験談や後輩への激励の機会を設けた。また、卒業生へのフォローとして「ホームカミングデー」を学祭時に行い、卒業生と教員が懇談できる場を提供した。丹波市と就職支援に係る連携協定締結に向けた情報交換を行い、就業体験の場となるよう、インターンシップ事業に登録した。その一環で、人間生活学科・健康専攻学生が丹波市の企業見学会に参加した。

就職実績としては、免許資格を生かした専門職への就職を中心に、3月末時点で就職率が96%を達成した。

(3). 寮運営について

寮の細則を見直し、学生が規律ある生活が送れるように整備した。規則違反の項目を設け、湊川相野学園寮規則と対応できるように危機管理の点からも整備した。

楠木寮の風呂の混雑を考慮し風呂使用時間を朝にも設け、過ごしやすさに配慮、学生の

食事での栄養面の配慮から夕食の欠食をしない対策など、できることから実施している。

平成 27 年度入学生の入寮希望者が多数あり、希望者を迎え入れる方針のもと、3 人部屋・4 人部屋を設定した。学生・保護者への理解を得る努力をし、現在はトラブルなく学生は寮生活を送っている。

地域社会との連携について

平成 25 年度に附属北摂学園幼稚園から短期大学内に移設した三田市地域子育て支援センター（みな・とっちひろば）は、ボランティアとして多くの学生が参加し、育児相談や養成校教員の講座を通して地域の子育て支援の拠点となっている。また、三田市まちづくり部市民共同局コミュニティ課と専攻科学生が連携し「三田市家族の日」に親子遊びのブースの場を通し地域の子供の成長を共に喜び絆を深める機会が得られた。

介護技術講習会・キャリア形成訪問指導事業は地域施設等からの要望に応え開催する。毎年 2 期にわたって開催する講習会を定員 32 名で実施し、移動の介護、食事の介護、入浴の介護等実践的な学びの場を提供している。

平成 26 年度より特例教科目事業を行い、保育士取得を希望する教諭へ単位認定を行う科目を開講し地元教諭が多く受講した。特例教科目事業は本年度も引き続き行われる。

地域支援教育事業では 25 回目となる三田市民大学を開講した。テーマは「高齢化社会の生き方を考える - 楽しむ長寿とは何でしょう - 」と題し延べ 470 人の参加があった。

高等学校との連携としては、兵庫県立三田祥雲館高等学校、兵庫県立川西明峰高等学校、兵庫県立有馬高等学校（定時制）、大阪府立池田北高等学校に本学の教員が出向き、講師として授業を行った。

以上

(1) 学校運営の改革・改善

① 男女共学化の推進

近年、少子化等の影響により、本校においても入学志願者数が減少傾向にあったことから、平成16年度に男女共学化を発足させた。この結果、入学志願者数は、次のように増加してきている。

()は男子数 (毎年5月1日現在・単位:人)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H21年度	210	1,689 (837)	311(168)	915(485)	311	320	284
H22年度	210	1,717 (880)	370(242)	957(570)	370	285	302
H23年度	210	1,815 (990)	382(242)	1,000(616)	383	346	271
H24年度	210	1,807 (966)	323(204)	1,008(626)	334	347	327
H25年度	210	1,859 (927)	372(219)	1,008(614)	374	307	327
H26年度	210	2,078(1,168)	392(269)	1,048(673)	391	353	304

② コース制導入による教育課程の再編

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置した。

()はクラス数 (毎年5月1日現在・単位:人)

年度	特進コース	総合コース
H21年度	80(3)	869(21)
H22年度	69(3)	846(21)
H23年度	65(3)	892(22)
H24年度	60(3)	940(24)
H25年度	72(3)	936(24)
H26年度	77(3)	971(24)

③ 本校と短大、幼稚園との連携

幼児教育等の講義・実習を履修

(2) 特色ある教育の実施

特進コースにおいては、特に難関私立大学よりさらに上位校を目指す生徒に対し、2年次より文・理両コースに分けて、少人数クラスでの授業を実施している。

また、特進及び総合の両コースにおいては、サテライン及びeラーニングによる授業を展開し、生徒の学力向上と進学率の向上を図っている。

そのほか、他校にない特色として茶道を正課教育に取り入れている。また、24年度より本学園の幼稚園との連携も視野に入れた、総合学習における農園実習など新たな事業の展開を図る。

(3) 平成26年度の主な行事

4月5日	第64回入学式
6月13日,14日	松聖祭(文化の部)
6月17日	松聖祭(体育の部)
7月23日,24日	兵庫県私立中学・高等学校連合会主催 第9回兵庫私立中学・高等学校展(合同説明会)大丸神戸店
8月1日,26日	学校見学会
1月18日～23日	2年生 ハワイへの修学旅行(第10回目)
2月21日	第62回卒業式

湊川短期大学附属西舞子幼稚園 平成26年度事業報告

(1) 在籍状況(定員220名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	1	6	8		11	12	12	16	17	17	18	118
3歳児	55	54	54	54		55	55	55	56	56	56	56	606
4歳児	64	64	64	63		63	64	64	64	65	65	65	705
5歳児	69	69	69	69		69	69	69	69	69	69	69	759
計	188	188	193	194		198	200	200	205	207	207	208	2188

※26年新園舎(耐震補強事業)完成。27年度より幼稚園型認定こども園。2歳児(定員10名)含めての定数入園児数も昨年度と同じ90%以上を確保できた。認可定員220名を2年越えないよう210名前後確保する。

(2) 運営・経営状況

- ・園舎建替え、新制度への保護者の理解とスムーズな移行ができた事に尽きる。地域、保護者共に、50年の幼稚園の教育を信頼してくださる土壌があったこそ達成できたと考える。
- ・行事、活動について「例年通り」が通用しない中、職員が一から計画立案した事は結果的に「何故この活動が子どもに必要なか」という根本からの見直しとなった。安全面、場所、時間構成の工夫など個々の教師の資質の差はあれ、教育力の向上、教師生活での貴重な経験と相互の一体感は感じ取れたと信じていたい。

(3) 怪我・事故

- ・「首から上の怪我は原則、受診する」とした。病院での診断、治療(脳外科3、外科4、眼科3、歯科4)・5月から工事に入り園庭なくなり、近隣の公園利用での日々の戸外遊びとなったが、行き帰りも含め事故もなく過ごせた事に対し、教師の日々の危機管理意識の向上が感じられた事が成果。
- ・不審者、危機災害等の避難訓練も現状の経路が使えない中で、職員も園児も想定外の避難を余議無くされたことで、臨機応変な経路の確認と整備、二次避難場所の確保など職員の危機管理意識が高まった。新園舎になり、整備された環境下でも多様な想定の中、「命を守る」力が高まるような内容の避難訓練を実施していく

(4) 子育て支援事業

- ・すずらん保育(預かり保育): 在園児、卒園児(～小3)AM7:00～19:00長期休暇中有1日平均約40～45人
- ・つぼみ教室: 月4回程度、登録12組。満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
- ・すこやかひろば: 月2回程度、満一歳以上未就園親子。随時登録可、地域友達との触れ合いの場とする。
- ・わくわくようちえん: 就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

※認定こども園化を意識し、つぼみ教室回数を昨年2倍に、すこやか広場等の回数、内容も充実し園教育理解と、秋の幼稚園選択におおいに影響したと思われる。

※認定こども園としての預かり保育の内容、料金、シフト等の見直し(国、市の方針に基づいて)実施中

(5) 職員研修

- ・新任研修(年14回)
- ・附属5園研修
- ・神私幼「みんなあつまれ」参加/事前研修サブリーダー
- ・子育てフォーラム
- ・神私幼連盟研究会{グループ研修(2名)、一般研修(2名)、専門研修(2名)いずれも実践報告年5～6回}
- ・県私幼研究会{子育て相談研修(2名)}
- ・私立幼稚園研修会
- ・垂水区私立幼、保、小連携の会出席、情報交換

(6) 購入・修繕等

幼稚園全面建替え、及び園庭整備外壁外溝工事

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・プレ親体験授業交流訪問(市立長坂中学校)
- ・トライやるウィーク(6月・・・明石市立中学校2校、10月・・・神戸市立中学校2校)
- ・神私幼事業「みんなあつまれ」年長児親子参加(ワールド記念ホール)
- ・実習生、学生ボランティア受け入れ
- ・交通安全教室(垂水警察来園指導)
- ・「みんなまってるよ」就学前事業(5歳児西舞子小へ)
- ・神戸市教委研究実践・幼保小連携プログラム西舞子ブロック(三年間)開始{小1、市幼1、私幼2(明舞幼、西舞子幼)、保2}

<テーマ>幼保小連携で、豊かな心を育むカリキュラムづくり

(8) 広報・社会活動

- ・園子育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)
- ・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
- ・幼稚園ホームページの更新向上(各園共通化と各園の特色)
- ・附属5園「入園案内」一本化

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・園内研究会(各学期ごと)の実施
- ・「行事、園外保育の反省、改善」を今年度の目標に置き、子どもの発達に添った内容を軸に話し合った。
- ・保育日誌の自由閲覧
- ・園長からの保育参考資料配布による園内研修・討議(大切にしたい保育の視点・小学校以降の学びの土台となる幼児期の生活の経験とは?)

湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 平成26年度事業報告

(1) 在籍状況(定員 240 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	55	55	55	55	55	57	57	57	57	57	57	57	674
4歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
5歳児	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	756
計	182	182	182	182	182	184	184	184	184	184	184	184	2198

* 昨年度と比較して

・3歳児学級の園児募集が上手くいかず人数減となった。

(2) 運営・経営状況

・平成27年度より新制度の幼稚園型認定こども園となるが、新制度の開始年度のため制度内容が掴めない部分もあり、法人本部との協議を行いつつ慎重に園児募集を進めた。また、26年度設置しなかった満3歳児学級は、27年度には復活させた。

(3) 怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数(外科 2回、 歯科 1回)・昨年に比べ搬送回数は少ない。
・歯科通院は年長児が転倒し、乳歯の前歯を欠損した怪我である。

(4) 子育て支援事業

・私立幼稚園2歳児子育て応援事業(在宅2歳児対象) は実施、応募者が多く好評であった。
・みんなの幼稚園事業(未就園児対象、月2回程度)も幼児の体験を重視し参加者が多数。
・わくわく幼稚園の開設事業(在宅5歳児)を開設したが申し込みなし。

(5) 職員研修

・新任研修 ・附属6園研修(本園が8月末に研究保育を提供) ・神戸市私立幼稚園専門研修
・私立幼稚園教員子育て支援研修(年間8回) ・教育相談研修(湊川短大主催) ・人権教育研修

(6) 購入・修繕等

・耐震工事車両の為に傷んだ園庭修復 ・園庭周辺側溝の人工芝張り替え ・固定遊具修復、塗替え
・年度当初より、幼児用トイレの洋式化への全面改修工事を起案し決裁がおり、夏季休業中の着工完成予定であった。しかし、業者選定、資材及び職人の確保等が上手くいかず着工が次年度送りとなった。現在、27年度夏季休業中の完成を目指し、工程表も提出され実現に向かっている。

(7) 異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク 2校 ・プレ親体験 2校 ・実習生受け入れ

(8) 広報・社会活動

・垂水区役所の子育て支援課のボードに、ふれあい広場の案内を貼り出す

(9) 園内研究(委員会)活動

・園内保育研究 5～6月に全員実施。1人1～3回実施。 ・附属6園研修として研究保育を全員提供
・冬の感染症対策の一環として、ノロウイルス等の嘔吐処理方法実技研修を養護教諭が講師となり実施。

認定こども園 湊川短期大学附属 北摂第一幼稚園 平成26年度事業報告

(1) 在籍状況(定員 300名)

毎月1日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	12	11	11	12	11	13	11	11	11	10	11	11	135
満3歳児	0	1	1	2	4	5	9	10	13	14	14	14	87
3歳児	48	47	48	48	48	48	50	50	50	50	50	50	587
4歳児	80	80	80	81	81	81	82	82	82	82	82	82	975
5歳児	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	1044
計	227	226	227	230	231	234	239	240	243	243	244	244	2828

(2) 運営・経営状況

- ・2学期後半より2歳児クラスへの問合せが増えてきた。保護者のニーズにより受け入れ人数の見直しが必要である。
- ・職員人事によりフリー教諭が増員。気になる子どもへの対応、支援がこまやかにできたのではないかと考える。しかし、預かり保育専任教諭の人数が不十分のため、職員が補うことがある。2学期より専攻科の学生が入ることにより少し改善された。
- ・2歳児クラスの朝、夕方、また預かり保育の保育士不足に伴い平日をはじめ、長期休暇職中も職員が交代で当番にあたる。幼稚園それぞれ状況が違うので実情にあった職員配置を望む。
- ・自園調理により温かい給食をいただけるようになった。始まったばかりで見直しや改善点はあるが給食委員会で業者との話し合いができた。

(3) 怪我・事故

- ・病院で診断・治療を受けた回数は10回
(眼科4回・歯科2回・外科4回)
- ・保育時間中以外(預かり保育)の怪我が半数である。

(4) 子育て支援事業

- ・すこやか広場(月に2回 園庭開放・職員と遊ぶ)
- ・あいあいルーム(親子コース 月2~3回・こどもコース 月3~4回)
- ・在園児の弟妹の一時預かり

(5) 職員研修

- ・新任研修・附属6園研修・三同教・保幼小中連携研修・運動あそび
- ・三田私立幼稚園研究部会・運動遊び・特別支援教育研修・子育てフォーラム
- ・日本保育学会・給食施設協議会

(6) 購入・修繕等

- ・園舎(保育室棟)の屋根の修理と外壁の塗装・保育室トイレの洋式化
- ・保育室前にオーニング取り付け
- ・保育室のガラスが割れることが続いた。耐久性が落ちてきているようだ。

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(2校)・北摂三田高校体験保育・武庫小学校との交流
- ・教育実習受入・人と自然の博物館との交流(5歳児)
- ・地域行事参加(5歳児有志)・・・消防大会・フラワータウンまつり・武庫小校区まつり

(8) 広報・社会活動

- ・私立幼稚園研究部会世話係・三田給食施設協議会 (園長)

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・湊川相野学園中長期計画・卒業生と語る会出席・給食委員会

湊川短期大学附属 北摂中央幼稚園 平成26年度事業報告

(1) 在籍状況(定員305名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	2	6	8	8	10	12	12	14	15	15	15	117
3歳児	87	87	87	88	88	86	86	86	87	86	86	86	1040
4歳児	95	95	95	95	95	97	97	97	97	97	96	96	1152
5歳児	106	106	106	106	106	106	106	105	106	106	106	106	1271
計	288	290	294	297	297	299	301	300	304	304	303	303	3580

*昨年度と比較して

・入園率は昨年とほぼ変わらない。

(2) 運営・経営状況

・新規採用者3名を迎え、学年主任を中心にきめ細やかな打ち合わせを充分に行い、経験不足を補えるようにした。保護者の理解と協力支援を受けることによって、高い評価を保持することに至っている。

(3) 怪我・事故

病院で診断・治療を受けた回数11回(脳外科3・歯科4・眼科2整形外科2)

(4) 子育て支援事業

・三田市子育てステーション事業 毎月1回・兵庫県私立幼稚園2歳児応援事業
・あいあいソールム 親子コース、子どものみコース実施

(5) 職員研修

・新任研修、附属6園合同研修・三同教・阪神同教・運動遊び講習会・特別支援研修・保幼小連携・教員研修大会

(6) 購入・修繕等

・保育室壁塗り替え・2階手洗い場設置(遊戯室前)

(7) 異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク2校・三田西陵高校・三田祥雲館高校交流・すずかけ台小学校交流

(8) 広報・社会活動

・未就園児園庭開放・地域イベント職員参加

(9) 園内研究(委員会)活動

・特別支援アドバイザーによる指導・クラス研究保育・アレルギーについて(エビペンの使用方法を知る)

湊川短期大学附属 北摂学園幼稚園 平成26年度事業報告

(1) 在籍状況(定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	3	4	4	6	6	6	6	7	7	7	56
3歳児	33	34	34	35	35	36	36	37	37	36	36	33	422
4歳児	32	33	33	33	33	34	34	34	34	34	34	34	402
5歳児	42	42	42	43	43	44	44	45	45	45	45	45	525
計	107	109	112	115	115	120	120	122	122	122	122	119	1405

*昨年度と比較して

・9月以降入園率80%以上。

平成25年 3月:116名 平成26年 3月:119名

(2) 運営・経営状況

前園長の安定した経営も引き継ぎ、新任園長が着任した。一年を通して、概ね順調な経営ができた。特に日常の充実した保育内容と、行事ごとの園児の成長により保護者から大きな信頼を得られたことと、父母の会が会長を中心によくまとまり、園に対して強い支えと協力があつたことは大きな成果と言える。

(3) 怪我・事故

病院で診断・治療を受けた回数 3回(歯科1、外科2)

(4) 子育て支援事業

未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放日を設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。

- ・三田市子育てステーション事業
- ・兵庫県私立幼稚園2歳児応援事業
- ・兵庫県わくわく幼稚園事業

(5) 職員研修

- ・新任研修・附属6園合同研修・三同教・阪神同教・運動遊び講習会
- ・特別支援研修・保幼小連携研修・教員研修大会発表

(6) 購入・修繕等

購入 ・給食食器一式・音響設備スピーカー ・園庭整備用土・砂
修繕 ・雨どい修理・園庭整備用土、砂

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク ・三田松聖高校実習農園借用 ・県立祥雲館高校体験保育
- ・実習生受け入れ ・関西学院大学よさこい連炎流との交流

(8) 広報・社会活動

- ・こいのぼり防火訓練にて新聞掲載 ・県立祥雲館高校との交流新聞掲載

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・保育研究会議 ・保育室環境整備会議 ・特別支援に係る会議
- ・安全対策委員会 ・感染症委員会

湊川短期大学附属キッズポート保育園 平成26年度事業報告

(1) 在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	5	6	7	8	10	11	11	12	12	12	12	12	118
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳児	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	157
3歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
4歳児	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	17	17	199
5歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
計	79	79	80	81	83	85	85	86	86	86	86	86	1002

*4月2日現在は定員の115%以下しか受入できない。(国よりの通達)

*5月1日より定員の120%以上の受入可能。但し、通年平均で120%を超える入所数が2年連続と定員増の申請を取らなくてはならない。

(2) 運営・経営状況

・大きな変動はなく、例年通りの運営が行えた。

(3) 怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は9回(歯科3件、整形外科1件、眼科3件、外科1件、耳鼻科1件)内、日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は8件。いずれの怪我也完治済。

歯科3件・・・転倒した際に口をうち歯茎等の裂傷。いずれも歯には異常がなかった。

眼科3件・・・いずれも眼球に友だちの手があたり角膜の表面に傷が入ったが大事には至らず完治。

整形外科1件・・・肘内障(0歳児)。

外科・・・園庭でキックボードに乗っている際に転倒し額を切る。

耳鼻科・・・友だちにもらったBB弾を自分で耳に入れてしまった。

(4) 子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。
- ・しょうがい児保育を継続し行った。

(5) 職員研修

- ・新任研修、附属6園研修、三同教、阪神同教、睦保会研修(三田市内認可保育園所6園合同)、体操講習会、わくわく体操講習会、カウンセリング、子育てフォーラム、特別支援研修(上級)、給食施設協議会、児童虐待防止、アレルギー対応、保幼小中連携研修等を実施した。
- 三田市内認可保育園所との保育士部会(学年別)

(6) 購入・修繕等

- ・ブラストチラー(調理した食材を冷やす物)が作動せず修理を行った。

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・とらいやるウィーク2校、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学1回生来園、附属短大生との交流
- すずかけ台小学校との交流会、よこやま保育園との年長児交流会
- 保育士養成校の保育、実習生受け入れ、有馬高校ボランティア等を実施した。

(8) 広報・社会活動

就学前接続カリキュラム委員

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児保育会議、乳児保育会議
- ・離乳食会議、給食委員、アレルギー児配食会議等を行った。
- ・睦保会書記を1期務めた。
- ・湊川短大卒1年目の保育士が卒業生と語る会に参加した。
- ・全国私立保育園研究大会(岩手大会)で乳児保育の事例発表(6月)

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の収支計算は、企業の損益計算に近い計算構造の消費収支計算と、負債性収入（借入金等）及び資産取得に要した支出も含めた資金の流れを明らかにする資金収支計算があります。

消費収支計算では、授業料等の負債とならない収入を「帰属収入」といい、ここから資産の取得（施設・設備の購入）相当額等を基本金組入額として控除した額を「消費収入」としています。

この消費収入は、人件費、減価償却額を含めた教育研究経費および管理経費、借入金利息等、当年度で消費してしまう消費支出に充てます。消費収支計算は、この消費収入と消費支出の均衡状態を明らかにすることを目的としています。もし、このバランスがとれず消費支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

一方、資金収支計算は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。

通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されており、大まかな区分ではありますが学校にどういった収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、消費支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

この考え方から、前述のとおり基本金は、帰属収入（＝借入金等のように学校の負債となる収入以外の収入）から基本金対象となる資産相当額を基本金組入額として控除して組入れます。更に、消費収支計算において、消費収入として帰属収入から基本金組入額を控除しても、なお消費支出と均衡することが求められます。

ただし、固定資産の取得が借入金による場合は、その収入が帰属収入とならないため、取得年度では基本金組入れを行わず、帰属収入で借入金を返済したとき、その都度組入れることになっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,309,983	1,312,245	△ 2,263	学生生徒等納付金収入	1,103,130	1,107,275	△ 4,144
教育研究経費支出	350,801	357,889	△ 7,088	手数料収入	43,616	43,813	△ 197
管理経費支出	223,359	231,197	△ 7,838	寄付金収入	8,027	9,256	△ 1,230
借入金等利息支出	282	282	0	補助金収入	902,643	902,883	△ 240
施設関係支出	546,697	543,707	2,990	資産運用収入	62,145	81,414	△ 19,269
設備関係支出	50,783	51,906	△ 1,123	資産売却収入	360,941	460,941	△ 100,000
資産運用支出	561,235	661,445	△ 100,210	事業収入	92,175	95,862	△ 3,687
その他の支出	323,262	494,709	△ 171,447	雑収入	134,323	138,911	△ 4,588
予備費	200	0	200	借入金等収入	150,000	150,000	0
資金支出調整勘定	△ 101,717	△ 142,831	41,114	前受金収入	235,850	228,781	7,069
次年度繰越支払資金	1,954,280	181,287,884	141,400	その他の収入	317,874	492,271	△ 174,397
				資金収入調整勘定	△ 343,297	△ 539,717	196,420
				前年度繰越支払資金	2,151,738	2,151,738	0
支出の部合計	5,219,165	5,323,429	△ 104,263	収入の部合計	5,219,165	5,323,429	△ 104,263

消費収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,309,983	1,305,910	4,072	学生生徒等納付金	1,103,130	1,107,275	△ 4,144
教育研究経費	486,785	492,505	△ 5,720	手数料	43,616	43,813	△ 197
管理経費	241,219	250,859	△ 9,640	寄付金	10,771	12,463	△ 1,692
借入金等利息	282	282	0	補助金	902,643	902,883	△ 240
資産処分差額	0	161,222	△ 161,222	資産運用収入	62,145	81,414	△ 19,269
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	資産売却差額	158,686	158,686	0
予備費	200		200	事業収入	92,175	95,862	△ 3,687
消費支出の部合計	2,038,468	2,210,778	△ 172,310	雑収入	134,323	138,911	△ 4,588
当年度消費収入超過額	21,541	128,159		帰属収入合計	2,507,489	2,541,306	△ 33,817
前年度繰越消費収入超過額	375,841	375,841		基本金組入額合計	△ 447,479	△ 202,368	△ 245,111
基本金取崩額	0	0					0
翌年度繰越消費収入超過額	397,383	504,001		消費収入の部合計	2,060,010	2,338,938	△ 278,928

貸借対照表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,490,150	6,847,642	642,508
(1)有形固定資産	4,523,968	4,210,279	313,689
(2)その他の固定資産	2,966,182	2,634,364	331,818
流動資産	2,111,514	2,286,810	△ 175,296
合計	9,601,664	9,134,452	467,211

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	353,261	209,596	143,665
流動負債	392,652	399,633	△ 6,982

第1号基本金	8,211,751	8,009,382	202,368
第4号基本金	140,000	140,000	0

消費収支差額	504,001	375,841	128,159
--------	---------	---------	---------

合計	9,601,664	9,134,452	467,211
----	-----------	-----------	---------

過去三年の財務の推移表

単位 千円

消費収支計算書	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
	短大349名 高校1008名 幼稚園998名 保育所77名			短大340名 高校1,008名 幼稚園1,014名 保育所77名			短大339名 高校1,049名 幼稚園991名 保育所79名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,135,765	55.0%		1,108,139	49.9%		1,107,275	43.6%	
手数料	34,932	1.7%		38,215	1.7%		43,813	1.7%	
寄付金	11,417	0.6%		9,468	0.4%		12,463	0.5%	
補助金	661,526	32.0%		708,917	31.9%		902,883	35.5%	
資産運用収入	67,429	3.3%		109,684	4.9%		81,414	3.2%	
資産売却差額	0	0.0%		15,654	0.7%		158,686	6.2%	
事業収入	33,768	1.6%		88,675	4.0%		95,862	3.8%	
雑収入	120,047	5.8%		142,016	6.4%		138,911	5.5%	
帰属収入合計	2,064,884	100.0%		2,220,768	100.0%		2,541,306	100.0%	
基本金組入額合計	△430,790	-20.9%		△201,425	-9.1%		△202,368	-8.0%	
消費収入合計	1,634,094	79.1%		2,019,343	90.9%		2,338,938	92.0%	
人件費	1,255,215	60.8%		1,263,113	56.9%		1,305,910	51.4%	
(教育研究経費支出)	213,263	10.3%		245,838	11.1%		307,501	12.1%	
(奨学費支出)	68,864	3.3%		78,285	3.5%		52,486	2.1%	
(減価償却額)	130,901	6.3%		137,854	6.2%		132,518	5.2%	
教育研究経費 合計	413,028	20.0%		461,977	20.8%		492,505	19.4%	
(管理経費支出)	231,036	11.2%		203,830	9.2%		231,197	9.1%	
(減価償却額)	18,694	0.9%		19,479	0.9%		19,662	0.8%	
管理経費 合計	249,730	12.1%		223,309	10.1%		250,859	9.9%	
借入金等利息	757	0.0%		541	0.0%		282	0.0%	
資産処分差額	204	0.2%		6,608	4.7%		161,222	116.1%	
徴収不能引当金繰入額	20	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
消費支出合計	1,918,954	92.9%		1,955,548	88.1%		2,210,778	87.0%	
当年度消費収入超過額	△284,860			63,795			128,159		
前年度繰越消費収入超過額	596,902			312,042			375,841		
基本金取崩額	0			0			0		
翌年度繰越消費収入(支出)超過額	312,042			375,837			504,001		

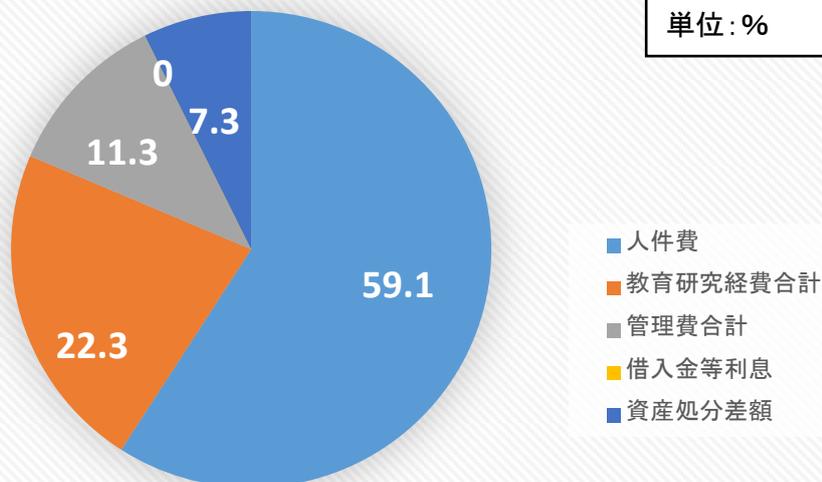
単位 千円

資金収支計算書	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,135,765	22.2%		1,108,139	20.4%		1,107,275	20.8%	
手数料収入	34,932	0.7%		38,215	0.7%		43,813	0.8%	
寄付金収入	11,386	0.2%		8,623	0.2%		9,256	0.2%	
補助金収入	661,526	12.9%		708,917	13.1%		902,883	17.0%	
資産運用収入	67,429	1.3%		109,684	2.0%		81,414	1.5%	
資産売却収入	350,000	6.8%		915,667	16.9%		460,941	8.7%	
事業収入	33,768	0.7%		88,675	1.6%		95,862	1.8%	
雑収入	117,560	2.3%		141,956	2.6%		138,911	2.6%	
借入金等収入	0	0.0%		0	0.0%		150,000	2.8%	
前受金収入	234,485	4.6%		241,580	4.4%		228,781	4.3%	
その他の収入	933,940	18.2%		372,582	6.9%		492,275	9.2%	
資金収入調整勘定	△346,565	-6.8%		△367,359	-6.8%		△539,717	-10.1%	
前年度繰越支払資金	1,884,406	36.8%		2,065,554	38.0%		2,151,734	40.4%	
資金収入合計	5,118,632	100.0%		5,432,233	100.0%		5,323,429	100.0%	
人件費	1,249,656	24.4%		1,266,710	23.3%		1,312,245	24.7%	
教育研究経費支出	282,127	5.5%		323,285	6.0%		357,889	6.7%	
管理経費支出	231,036	4.5%		203,829	3.8%		231,197	4.3%	
借入金等利息支出	757	0.0%		541	0.0%		282	0.0%	
借入金等返済支出	6,660	0.1%		19,980	0.4%		0	0.0%	
施設関係支出	388,874	7.6%		136,311	2.5%		543,707	10.2%	
設備関係支出	31,927	0.6%		24,798	0.5%		51,906	1.0%	
資産運用支出	536,592	10.5%		1,043,781	19.2%		661,445	12.4%	
その他の支出	420,901	8.2%		399,526	7.4%		494,709	9.3%	
資金支出調整勘定	△95,452	-1.9%		△138,262	-2.5%		△142,831	-2.7%	
次年度繰越支払資金	2,065,554	40.4%		2,151,734	39.6%		1,812,880	34.1%	
資金支出合計	5,118,632	100.0%		5,432,233	100.0%		5,323,429	100.0%	

平成26年度決算報告グラフ他分析資料

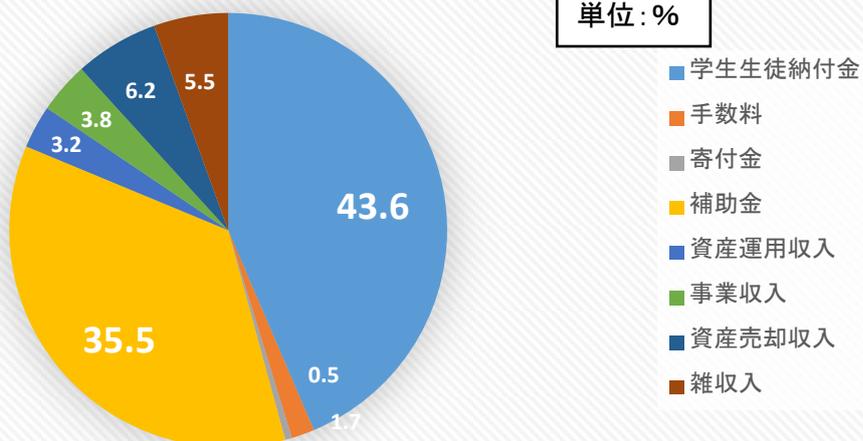
平成26年度 消費支出構成比率

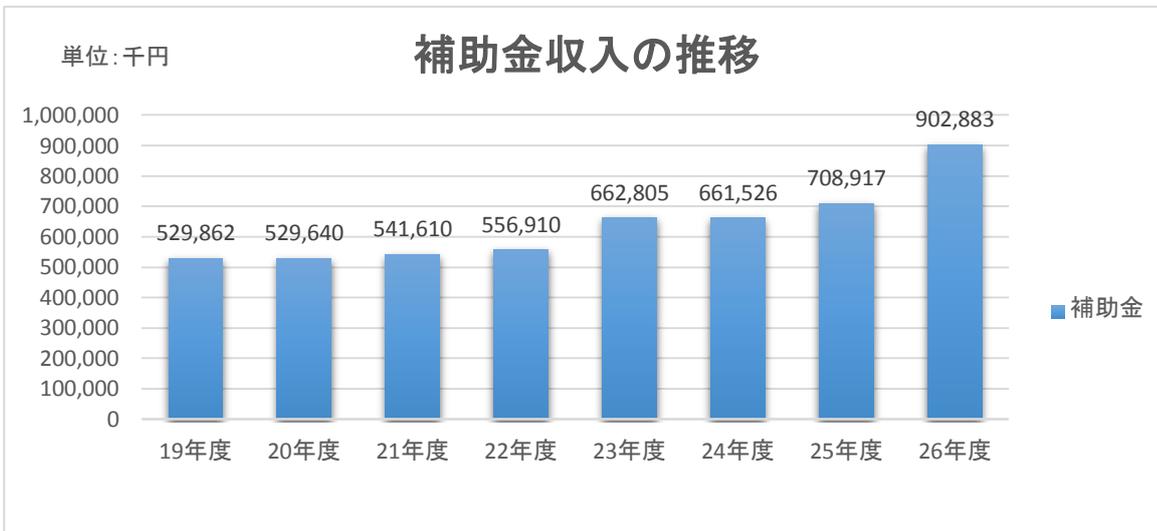
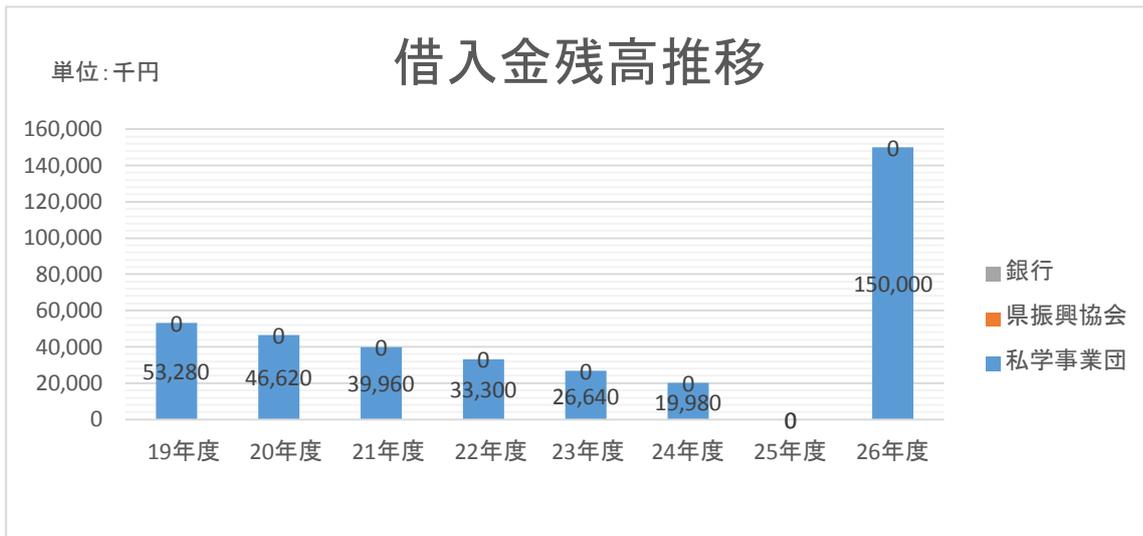
単位：%



平成26年度 帰属収入の構成比

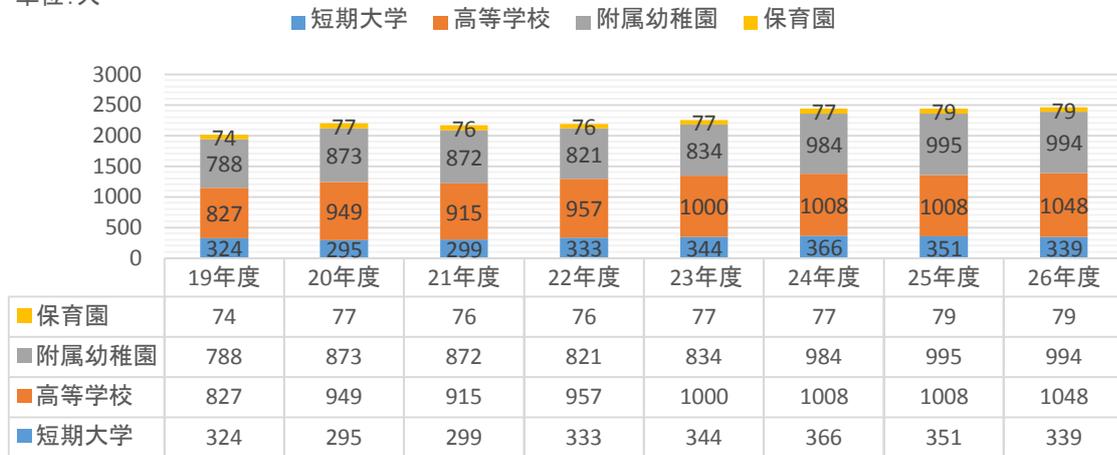
単位：%





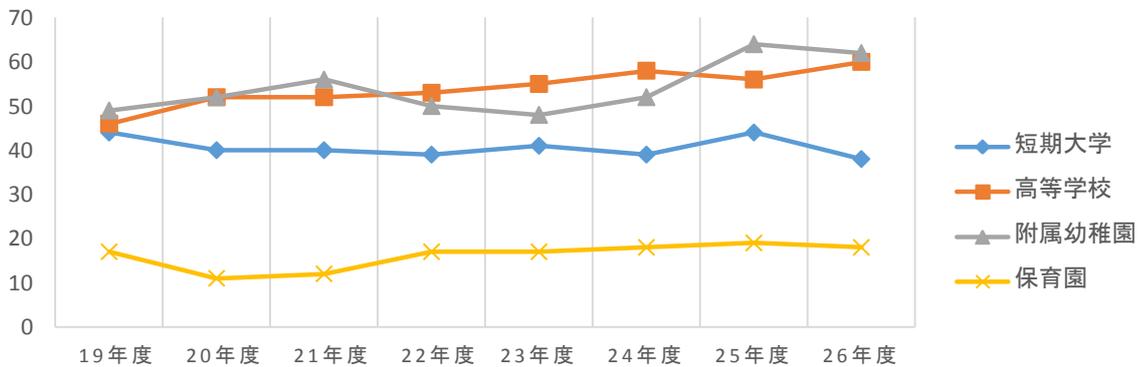
学生数の推移

単位:人



単位:人

教職員の推移



◆◆主要財務諸表の比較表◆◆

単位:%

比率	算式(×100)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費比率	人件費÷帰属収入	64.3	60.7	56.9	51.4
人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金	115.1	110.3	114.0	117.9
教育研究経費支出率	教育研究費÷帰属収入	21.6	20.0	20.8	19.4
管理経費支出率	管理経費÷帰属収入	9.7	12.1	10.1	9.9
消費支出比率	消費支出÷帰属収入	95.7	92.9	88.1	87.0

平成27年5月18日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園
理 事 会 御中
評 議 員 会 御中

学校法人 湊川相野学園

監 事 下 山 隆 一 郎 印

監 事 木 寅 文 雄 印

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づいて同学園の平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）及び学園の業務執行状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、業務報告書、財算目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務又は財産に関し不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。